【陶山地区まちづくり計画（案）の解説】

●まちづくり計画

まちづくり計画は、自分の住む地域がより暮らしやすいまちとなるよう目標を立て、実現に向けた取り組みを示す「道しるべ」です。

●陶山地区まちづくり計画

陶山まちづくり協議会では、平成３０年度から策定の準備をし、今年度から本格的に策定の取り組みを行ってきました。８月２９日には、「陶山地区まちづくり計画策定委員会」を立ち上げ、小中学校の児童、生徒や若年層へのアンケート調査をし、意見を徴収しながら、策定委員会で協議を重ねてきました。今度、これを素案として公開します。

●目指す陶山の姿

陶山地区では、少子高齢化が進んでおり、このため種々の深刻な問題があり全体の活力を削ぐ出来事が発生しています。この現状を打破するため、将来の目指す陶山の姿を「みんなが笑顔で暮らし元気あふれる陶山」としました。

●活動指針

目指す陶山の姿を実現するための方向性として次の３つの活動指針を定めました。

・地域で支え合う絆づくり・・・住民の絆をより強め、お互いに支え合う陶山にしていこうとするものです。

・安全で安心できるまちづくり・・・命と暮らしを守り、安全で安心できる陶山にしていこうとするものです。

・文化を引き継ぎ豊かな自然を守る・・・陶山の自然と文化を守り、未来へつないでいこうとするものです。

●活動項目

目指す陶山の姿にするために具体的に取り組むべき活動を「支え合い」「命と暮らしを守る」「文化を未来につなぐ」の３区分に分けました。

●継続・新規

各活動は、すでに行っているものと、新規にこれから行おうとするものがあります。すでに行っているものは、「継続」これから行おうとするものは「新規」と表示しています。新規活動は、今まで実施してきたワークショップやアンケート等から見えてきた地域課題の解決に役立つ活動にしました。

●期間

目標達成期間のことで、新規活動については期間を設定しました。活動期間が１年から２年のものを短期、３年から４年のものを中期、５年以上のものを長期としています。

●事業主体

活動を主体になって行う組織、団体を表示しています。

●協働

その活動に協働して取り組む組織、団体がある場合は表示をしています。